

令和2年度事業報告について

1 正会員数

期首	58
入会	0
退会	3
期末	55

2 京都産業会館ホール使用状況

(1) 使用件数

(単位:件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019	7	9	16	11	9	16	17	21	14	7	16	4	147
2020	2	0	5	2	5	6	13	12	9	8	14	17	93
増減	△5	△9	△11	△9	△4	△10	△4	△9	△5	+1	△2	+13	△54
比率 (%)	28.6	0	31.3	18.2	55.6	37.5	76.5	57.1	64.3	114.3	87.5	425	63.3

(2) 使用日数

(単位:日)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019	53	29	70	65	23	61	69	65	44	15	57	26	577
2020	22	0	22	14	19	21	60	42	32	9	38	67	346
増減	△31	△29	△48	△51	△4	△40	△9	△23	△12	△6	△19	+41	△231
比率 (%)	41.5	0	31.4	21.5	82.6	34.4	87.0	64.6	72.7	60.1	66.6	257.7	60.0

(3) 収入額 (消費税込)

2019年度	1億2,102万円
2020年度	7,056万円
前年度比較	△5,046万円
	58.3%

・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の発出に伴い、京都府知事からの休業要請を受け、4月14日から5月31日までホールを臨時休館とした。

・産業会館では、既納のホール使用料は、災害等の不可抗力を除き、返還しないこととしているが、京都市や京都府の同種の施設の取扱いを踏まえ、特例措置として5月末日までの予約分については、新型コロナウイルスによるキャンセルの返金に応じることとした。(19件、1,124万円)

・ホールのご利用に当たっては、国や京都府から出された「イベントの開催制限」（収容人数、開催時間等）の内容を遵守するよう、主催者と連携して取り組んでいる。

・また、10月には、ホールの催事にお客様が安心してお越しいただけるよう産業会館独自に「京都産業会館ホール・新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」を制定し、主催者と協力しながら適切な予防対策を実施している。

3 「令和2年度事業計画」の進捗状況

(1) 公益法人としての取組み

①京都市との連携事業

京都市内に在住又は通学する中学生・高校生等を対象とした、伝統産業の日関連事業「きもの着付け&和文化体験事業」（参加費無料）について、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、令和3年3月20日（土）に開催した。

・募集人員 120名

応募者 169名のため、抽選で120名を決定

・参加者数 108名

中学生 76名、高校生 30名、留学生 2名

・和文化体験の概要

匂い香作り 19名

京こま作り 19名

ミニ提灯作り 22名

京印章作り 24名

金彩工芸アクセサリー作り 24名

②地場産業振興事業

ア 京都織物卸商業組合との連携事業

京都きものオーディション開催委員会（京都織物卸商業組合他6団体）主催の「京都きものオーディション（2021 京都・ミスきもの選考会）事業」及び「令和2年度和装通過儀礼事業」（十三まいり、七五三詣り）、「令和2年度きもの文化検定」に対して資金助成等を行った。

イ 「THE COMPE きものと帯」事業の休止

京都市域の大学や専門学校等の学生を対象とした「きものと帯のデザインコンペ」（実行委員長：森口邦彦氏）については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学生や大学・専門学校を取り巻く状況が大きく変化していることを勘案し、本年度事業は休止することとした。

なお、10月13日から12月6日までの会期で京都国立近代美術館において展覧会「森口邦彦 友禅／デザイン—交差する自由へのまなざし」が開催されたことを受けて、学生を対象とした展覧会の観覧と、森口邦彦実行委員長による「特別講演会」を会期中2回実施し、学生や教員から好評を得た。（10月30日、11月27日の2回開催。学生66名参加。）

③その他事業

京都染織青年団体協議会（令和2年度池田泰久会長）が、京都府内大学生から浴衣のデザインを公募する事業「京都学生ゆかたデザインコンテスト2020」を初めて開催されるに当たって、京都産業会館として後援するとともに、コンペ事業等のノウハウを生かした企画協力を行った。

(2) 法人運営の安定を図るための取組み

新型コロナウイルス感染症拡大によるホール利用の落ち込みに対応するため継続的にご利用いただいている企業等に重点的に営業活動を行うとともに、行政機関や各種団体への働きかけや、イベント企画会社等との情報交換を通じて新規ご利用の開拓に取り組んだ。

また、新たにホール利用を検討されているお客様には、ホールの魅力がより伝わるよう、ウェブサイトのコンテンツ充実にも取り組んだ。

○京都産業会館ホール稼働率

令和2年度 37.1%

(参考)令和元年度(2019年度)稼働率 53.4%

(3) 「京都経済センタービル管理組合」管理者としての取組み

京都経済センターの入居者及び来館者が安全・安心・快適に過ごせるよう、京都経済センタービル管理組合の管理者として、建物・設備の維持管理、駐車場の管理運営、防火・防災・防犯対策等に取り組んだ。

特に、新型コロナウイルス感染症対策として、共用部分の消毒の強化や、館内の換気能力の向上、来館者へのマスク着用や手洗いの呼びかけなどに努めた。

4 庶務事項

(1) 事務局職員

事務局長以下7名

(2) 役員会

6月18日 監事会（2019年度決算の監査）

7月3日 第1回理事会（第56期通常総会に付議すべき事項について等）

7月21日 第56期通常総会（2019年度事業報告書、決算書。令和2年度事業計画、予算書の報告等）

7月21日 第2回理事会（理事長、副理事長並びに専務理事の選任について）

10月29日 第3回理事会（令和2年度事業報告4月～8月）

3月26日 第4回理事会（令和3年度事業計画、予算書。令和2年度事業の進捗等）